

【ご紹介】一般社団法人建築性能基準推進協会WGで定めたルールについて

一般社団法人建築性能基準推進協会の防耐火構造WG、防火設備WGにて、下記のようなルールが制定されております(以前から運用されているものもありますが、正式に文書化されました)。

概要を以下に示しております。なお、下記の詳細資料については、評価担当または「seinou2@gbrc.or.jp」までお問合せください。

防耐火構造WGルール	第1号	発泡プラスチック断熱材を用いた壁体の取り扱い	防火構造外壁において、発泡プラスチック系断熱材の申請範囲を広げるルールです。
	第2号	木造壁体における吹付け硬質ウレタンフォームの厚さおよび密度の取扱い	防火構造外壁において、吹付け硬質ウレタンフォームの申請範囲を広げるルールです。
	第3号	構造用面材及び下張材リストについて	防火構造及び準耐火構造外壁において、構造用面材及び下張材の申請範囲を広げるルールです。
	第4号	軽量セメントモルタルの仕様範囲と試験体選定について	防火構造及び準耐火構造外壁において、軽量セメントモルタルの標準試験体を定めるルールです。
	第5号	防耐火構造の性能評価業務における屋根鋼製たるき被覆材について	耐火構造及び準耐火構造屋根において、たるき被覆材の申請範囲を広げるルールです。
	第6号	木造壁体の充てん断熱材に関する取り扱い	防火構造外壁において、充てん断熱材を可燃性によりグレード分けし、低いグレードのもので試験すれば高いグレードのものを包含できるルールです。
防火設備WGルール	第1号	網入板ガラスを耐熱結晶化ガラスに置き換える件について(引違い窓)	網入板ガラス入引違い窓で試験した場合、耐熱結晶化ガラスを包含できるルールです。
	第2号	防犯フィルムの貼付仕様の包含について	防火ガラスを用いた窓を防犯フィルムなしで試験し、防火ガラスの脱落がなかった場合、防犯フィルムを包含できるルールです。
	第3号	試験体サイズを上回るシャッター等における遮炎性能評価方法について	試験体サイズを上回るシートシャッター等において、耐火試験炉に納まらない寸法の遮炎性能を確認する方法を定めるルールです。
	第4号	試験体サイズを上回るシャッター等における遮煙性能評価方法について	試験体サイズを上回るシートシャッター等において、遮煙試験装置に納まらない寸法の遮煙性能を確認する方法を定めるルールです。
	第5号	網入板ガラスを耐熱結晶化ガラスに置き換える件について(はめ殺し窓)	網入板ガラス入はめ殺し窓で試験した場合、耐熱結晶化ガラスを包含できるルールです。

【FAQ】試験室によくある質問 vol.1

本シリーズでは、今後、複数回に分けて『試験室によくある質問とその回答』をご紹介します。試験依頼のご検討の一助となれば幸いです。

Q1. 防耐火構造試験で実施可能な最大の寸法および載荷荷重の上限を教えてください。

A1. 下表に試験炉毎の回答をお示しします。試験体仕様等によっては下記と異なる場合もございますので、詳細についてはご相談ください。

試験炉	最大寸法	載荷上限
1号壁炉	・加熱範囲⇒幅3.5 m × 高さ3.4 m (幅3m × 高さ3mも可能)	載荷不可*1
2号壁炉	・加熱範囲⇒幅3m × 高さ3m	700 kN
柱炉	・加熱範囲⇒高さ3m ・荷重支持部材断面⇒650mm角以下	10000 kN
水平炉	・加熱範囲⇒幅3m × 長さ10m × 高さ2m ・被覆材込みの梁断面(載荷ありの場合) ⇒せい1000mm × 幅500mm程度 ・被覆材込みの梁断面(載荷なしの場合) ⇒せい1200mm × 幅1000mm程度	500 kN
小型炉	・加熱範囲⇒0.8m × 0.8m × 0.8m	載荷不可*1

*1: 載荷可能な場合もございます。

Q2. ISO834標準加熱温度曲線を用いた最長の加熱可能時間を教えてください。

A2. 壁炉では3時間、壁炉以外では4時間が上限です。ただし、試験体仕様によっては上記時間の加熱が実施できない場合もございます。

【お知らせ】主な試験の空き状況 (2021年7月19日時点)

◆防耐火構造試験

試験設備	対象部材	ご案内可能な日程
1号壁炉	非耐力壁、防火設備、 区画貫通部	2021年11月以降
2号壁炉	耐力・非耐力壁、防火設備、 区画貫通部	2021年9月以降
柱炉	柱	2021年12月以降
水平炉	床、屋根、梁、 区画貫通部、小型柱	2022年8月以降
小型炉	上記すべての縮小版なら可	2021年10月以降

◆防火材料試験

対象試験	ご案内可能な日程
発熱性試験(コーンカロリメータ試験)	2021年9月以降
発熱性試験(模型箱試験)	2022年1月以降
ガス有害性試験	2021年8月以降
屋根の飛び火試験	2021年11月以降

注) 上記以外の試験の空き状況についてはお問い合わせください。
また、上表より早い日程でも空きがある可能性もございます。
詳細は下記の間合せ担当もしくは評価打合せ担当までお問合せください。

間合せ担当

壁炉 ⇒ 松田(matsuda@gbrc.or.jp)
柱炉・水平炉・小型炉 ⇒ 四元(yotsumoto@gbrc.or.jp)
防火材料試験 ⇒ 大上(oue@gbrc.or.jp)

【情報】令和2年度 建築基準整備促進事業 成果概要

令和2年度の基整促成果概要が公開されました。国土交通省HPより各事業の成果概要をDL可能です。

(https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_fr_000121.html)

防火関係の概要は下表の通りです。

	事業名	概要
F16	新たな基準に対応した防火設備の告示化及び評価方法の検討	20分間を超える防火設備(窓)について、最長90分間の遮炎性を有する仕様を提案した。
F17	新たな基準に対応した高度な準耐火構造の仕様等の告示化の検討	75分間以上の準耐火構造の被覆型部材及び柱-梁接合部について仕様を提案した。
F18	中規模木造建築の区画貫通部の仕様及び燃えしろ設計法の合理化に係る検討	180分間の遮炎性を有する貫通部・風道及び防火ダンパーの仕様を提案した。また、含水率・温度変化による木材残存強度に関する検討を行った。

【スケジュール】性能評価委員会

今年(2021年)の防耐火関係の委員会開催日程(予定)は下表のとおりです。

下表の情報はGBRCのホームページでもご確認いただけます。

https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/committee/

	8月	9月	10月(仮)
防耐火構造部材性能評価委員会	2日 18日	6日 27日	11日 25日
防火材料性能評価委員会	31日	28日	-

【認定情報】大臣認定期間

2021年7月現在、国交省へ申請してから約1~3カ月後に認定書が交付されています。
新型コロナウイルスの影響、案件の内容により、上記よりもさらに時間がかかる可能性もございます。

国土交通省への認定申請手数料納付が、5月より電子納付となり、印紙現物でのお預かりはできませんので、ご注意ください。

なお、これまでと同様、認定申請手数料は、代行申請手数料とともに請求させていただきます。



【編集後記】

今年から大阪にやってきて新生活がスタートした宮城出身の社会人1年目です。学生時代、山岳部で東北各地の山を登ってきましたが、これからは関西の山も少しずつめぐっていかれると思っております。これから先の社会人生活もワクワクと不安が両方ありますが、一步一步山を登っていくように、一日一日精一杯取り組み、社会人としても上っていきたいと思います。日々精進して参りますので、今後ともよろしく願いたします。(村上)

発行者: 一般財団法人 日本建築総合試験所
 試験研究センター 耐火部 評価業務室
 担当: 門岡、高山、相模、尾碕、村上、尾仲
 TEL: 072(768)8201 FAX: 072(768)8215
 E-mail: seinou2@gbrc.or.jp